

「『企業の森・産学の森』推進事業」活用企業紹介



令和元年度「『企業の森・産学の森』推進事業」の「Ⅲ本格的事業展開コース」に採用されたリージョナルフィッシュ株式会社の代表取締役社長を務める梅川 忠典氏に、「次世代水産養殖システム」の開発をはじめ事業について伺いました。

ゲノム編集技術による品種改良と養殖自動化システムで 日本の水産業の持続的発展に貢献する

リージョナルフィッシュ株式会社

<https://regional.fish/>



ゲノム編集技術による品種改良と養殖の自動化で 水産物の新品種の開発と養殖に成功



代表取締役社長／CEO
梅川 忠典氏

ゲノム編集技術をはじめとした品種改良技術と、AI・IoTを用いた養殖自動化システムを組み合わせて、水産物の新品種開発と養殖を実現し、日本の水産業の存続・発展に貢献したい。そうした思いから2019(平成31)年4月、当社を設立しました。

当社は、ゲノム編集技術によって狙った遺伝子だけを切り取ることで、わずか2～3年という短期間で水産物を品種改良する手法を確立しました。遺伝子を外から導入したり、放射線や薬剤によってランダムに遺伝子を欠失させる従来の品種改良法と比べ、極めて安全です。これにより可食部が大きなマダイ「22世紀鯛」、成長性の高いトラフグ「22世紀フグ」を生み出すことに成功しました。

もう一つの強みは、品種改良と生産性向上の両方を可能にする養殖技術にあります。ゲノム編集を施した卵を孵化させ、成魚にまで育てる養殖技術がなければ品種改良を実現することはできません。当社は産学連携によってこの技術を確保するとともに、AI・IoTを使って魚の状態や水温・溶存酸素量な



可食部の大きい「22世紀鯛」の実寸大模型

どをモニタリングし、自動や遠隔操作で飼育環境を最適化するシステムを開発しました。

養殖場を設立し、養殖・販売事業を本格化 新たな品種改良にも着手

今回「『企業の森・産学の森』推進事業」を活用し、宮津市に養殖工場を設立。「次世代水産養殖システム」の事業化に向けて踏み出しました。本養殖場で「22世紀鯛」「22世紀フグ」を養殖し、自社のECサイトで販売を開始。好評をいただいています。また「22世紀フグ」は宮津市のふるさと納税返礼品にも採用されています。今回の推進事業の活用によって、事業化の確かな手ごたえを掴んだこと、何より当社を温かく受け入れ、後押ししてくださった宮津市の水産業活性化に貢献できる可能性を示せたことは、得難い収穫でした。

今後は、品種改良した種苗の販売や養殖技術のフランチャイズ展開を進めます。また地域の特性や社会のニーズに応じた新しい品種の開発にも取り組んでいきます。



品種改良した卵を孵化・生育

Company Data

- 代表取締役社長・CEO／梅川 忠典
- 所在地／京都市左京区吉田本町36-1 京都大学国際科学イノベーション棟
- 電話／075-600-2963 ●設立／2019(平成31)年4月10日
- 事業内容／水産物の種苗の生産・販売、水産物の養殖・販売、養殖技術のフランチャイズ展開